

調停事項の価額 42,320 円
ちょう用印紙額 500 円
予納郵便切手の額 2,600 円

この各欄への記載方法は、裁判所にお尋ねください。

調停：不法行為（傷害）
（□については、レ印を付したものを）

受付印

申立書は、裁判所用と相手方用として、正本、副本の2部を提出してください。相手方が複数である場合は、相手方の数+1となります。

(不法行為(傷害))

調 停 申 立 書

東京簡易裁判所 御 中

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

申立書を作成した日又は裁判所へ提出する日を書いてください。

申立人の住所・氏名・電話番号等

郵便番号 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇

住 所 東京都墨田区〇〇4丁目〇〇番〇〇 〇〇アパート〇〇号室

氏 名 墨 田 太 郎

印

送達場所 上記住所地 次のとおり

東京都千代田区〇〇2丁目〇〇番〇〇 〇〇マンション〇〇〇号室

電 話 03 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

ファクシミリ 03 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇

正本、副本ともに、あなたの認印(スタンプ式は不可。)を押してください。

「送達場所」とは、裁判所からの郵便物を受け取る場所を指します。住所以外の場所で受け取ることを希望する場合は、「次のとおり」にチェックし、その場所を記載してください。

あなたへの連絡先電話番号、ファクシミリ番号を書いてください。

相手方の住所・氏名

郵便番号 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇

住 所 東京都千代田区〇〇2丁目〇〇番〇〇号

氏 名 千代田 一 郎

相手方の住所、氏名を書いてください。

(相手方が会社であるときは、履歴事項全部証明書等を見て、本店所在地、会社名、代表者の氏名を書いてください。)

申立書には連続するページ数を記載してください。

申 立 の 趣 旨

相手方 は、申立人 に対し、金 4 万 2320 円

及び 上記金員
 上記金員の内金 万 円 に対する

令和 平成 〇〇年 5月 15 日から支払済みまで年 5 パーセントの
割合による金員

を支払うよう調停を求める。

紛 争 の 要 点

調停：不法行為（傷害）
（□については、レ印を付したものを）

1 申立人 は、以下の傷害事件により負傷し、かつ損害を受けた。

(1) 事件発生日時 令和平成〇〇年5月15日午後10時30分ころ

(2) 発生場所 地下鉄〇〇線〇〇駅1番ホーム上

(3) 加害者の氏名 千代田一郎

(4) 事件の態様等

申立人がホームを歩いていた際、持っていた鞆が相手方にぶつかったため、謝ろうと振り向いたところ、相手方にいきなり突き飛ばされ、顔面及び右手を負傷すると共に、かけていた眼鏡を壊された。

2

調停：不法行為（傷害）
（□については、レ印を付したものを）

（傷害の症名、部位、程度等）

顔面打撲、右手首捻挫 加療2週間

2 損害

(1) 財産的損害 合計金 4万2320 円

(内訳)

・治療費 金 1万0180 円

・通院交通費 金 640 円

・眼鏡代 金 3万1500 円

(2) 精神的損害（慰謝料） 金 円

3 相手方 の支払状況

全く支払がない。

令和 平成 年 月 日までに合計金 円支払済み

4 相手方 は、申立人 に対し、以下の事由により前記損害を賠償する責任がある。

3

調停：不法行為（傷害）
（□については、レ印を付したモノ）

上記1の(4)「事件の態様等」に記載のとおり、申立人が相手方にいきなり突き飛ばされ、その結果、負傷して2の「損害」を被ったものであるから、相手方は、民法709条により申立人に生じた損害を賠償する責任を負う。

5 そこで、申立人 は、相手方 に対し、申立の趣旨記載の金員の支払を求める。

添付書類

- 診断書 領収証（医療費）
 通院交通費明細表 領収証（眼鏡）

申立書の添付資料を記載します。例示されている書面（証拠書類等）があれば該当の□にチェックしてください。例示がない場合は、空欄の□にチェックして、その書類の名称を記載してください。申立人又は相手方が会社の場合は、その会社の履歴事項全部証明書等を添付します。

4